

令和4年度

第37回 福島県特別支援教育センター研究発表会 (二次案内)

「新しい時代の特別支援教育の実現に向けて」

～一人一人の学びの充実と支援体制構築に向けた私たちの役割とは～

時下、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、当センターでは、関係諸機関の皆様の御理解と御協力により、開所以来37回目となる研究発表会を開催することとなりました。

つきましては、多くの皆様の御参加を賜りますよう、御案内を申し上げます。

1 趣旨

特別支援教育をめぐる最新の動向や学校等の先進的な取組を広く関係者に周知し、共有することで、インクルーシブ教育システムの構築を目指すとともに、「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進を図る。

2 日時 令和4年12月2日(金) 9時45分～16時00分

3 場所 福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」
(田村郡三春町深作10番2号 田村西部工業団地内)

※ 当日は Zoom によるオンライン配信も行います。(LIVE の箇所)

配信方法については、11月14日(月)目安に、当センターホームページにてお知らせいたします。

4 主催 福島県特別支援教育センター

5 日程

9:15	10:00	11:10	12:00	13:55	15:45					
9:45	10:40	11:20	12:20	14:00	16:00					
受付	開 会 式 LIVE	研究発表1 教育研究 LIVE	長期研究員 発表 LIVE	休 憩	研究発表2 プロジェクト 研究 LIVE	実 践 報 告 LIVE	昼食 休憩 ポスター 発表	移 動	教育講演 LIVE	閉 会 式 LIVE

6 参加申込

別紙「参加申込書」により、電子メールでお申込みください。

申込み締切は、令和4年11月7日(月)17:00まで(必着)とします。

◆ 研究発表

【研究の趣旨】

福島県特別支援教育センターでは、「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進し、特別支援教育の更なる充実を図るため、「特別支援学校における効果的なICT活用の在り方」と「小・中学校の交流及び共同学習における一人一人の資質・能力を育むための効果的な指導及び支援の在り方」を探るべく、教育研究とプロジェクト研究に取り組んできました。

教育研究では、授業におけるICTの活用を通して、情報活用能力の育成と各教科の指導の充実を、プロジェクト研究では、交流及び共同学習の授業実践を通して、障がいのある児童生徒とない児童生徒が「共に学ぶ」環境の構築と学びの充実を目指してきました。

研究を通じて、新しい時代の特別支援教育の実現と、共に学び、共に生きる社会の形成に向けて取り組んでいきたいと考えています。

① 研究発表1 教育研究（二年度）

「特別支援学校におけるICTの効果的な活用の在り方

～情報活用能力の育成を踏まえた各教科等の指導の充実～

○ 研究発表 福島県特別支援教育センター 指導主事 寺井 寛

一人1台端末環境でのICTを活用した学びがスタートし、学習指導要領を踏まえて各教科等でどのようにICTを活用するか、将来の自立と社会参加に必要な情報活用能力をどのように考えて育成していくか、各学校の創意工夫による教科等横断的な取組が期待されています。

授業等におけるより効果的な活用の推進と、情報活用能力の育成を踏まえた各教科等の指導の充実を目指し、研究協力校5校との授業づくりやアンケート調査等から見えてきた成果と今後の展望について発表いたします。

② 研究発表2 プロジェクト研究（二年度）

「児童生徒一人一人の資質・能力を育む交流及び共同学習

～小・中学校の通常の学級と特別支援学級における実践研究～

○ 研究発表 福島県特別支援教育センター 指導主事 石井 あかね

小・中学校において、通常の学級と特別支援学級で行っている「交流及び共同学習」について、教科等のねらいの達成を目的とする共同学習の側面に焦点を当て、児童生徒一人一人の資質・能力を育むための効果的な指導及び支援の在り方を探る研究です。

田村市と会津坂下町をモデル地区とし、推進校・協力校各2校において、交流及び共同学習推進のための児童生徒の学びの充実と校内体制の整備を目指して研究を進めてきました。これまでの取組の成果と今後の展望について発表いたします。

◆ 長期研究員発表（二年度）

- ① 「算数科の図形領域につまずきの見られる児童への指導の在り方～つまずきの要因の把握と図形の感覚を育む指導と支援～」（二年度）

長期研究員 八城 真人（郡山市立芳山小学校 所属）

- ② 「特別支援教育の視点を取り入れた国語科の指導の在り方 ～『単語や文の理解』につまずいている児童への効果的な指導・支援の検証～」（二年度）

長期研究員 玉川 真衣（白河市立表郷小学校 所属）

◆ 実践報告

○ 教育相談

「自己理解と本人の意思決定を支える教育相談とは」

学校生活に苦しさを抱えている児童生徒が、教育相談を通して心と体が動き出した事例を通し、児童生徒の気持ちの捉え方や、かかわる教員が大切にしたい視点について報告します。

◆ ポスター発表

○ 教育研究 実践協力校の実践について

視覚支援学校、聴覚支援学校、須賀川支援学校、郡山支援学校、あぶくま支援学校

○ プロジェクト研究 推進校、協力校の実践について

推進校：田村市立滝根小学校、会津坂下町立坂下南小学校

協力校：田村市立滝根中学校、会津坂下町立坂下中学校

○ 長期研究員（一年次）の研究発表

- ・「通常の学級における特別支援教育の視点を取り入れた保健体育科の授業の在り方～生徒が運動の楽しさや喜びを味わえるための個に応じた効果的な指導と支援～」

長期研究員 佐久間 清美（郡山市立守山中学校 所属）

- ・「特別支援教育の視点で児童のつまずきをとらえた音楽科の授業づくり～つまずく要因の把握と個に応じた指導の工夫～」

長期研究員 吉田 理香（いわき市立三和小学校 所属）

○ 福島大学教職大学院院生研究報告

◆ 教育講演

テーマ「多様性をふまえた一人一人の学びの充実を考える」

講師：東京大学先端科学技術研究センター
シニアリサーチフェロー

中邑 賢龍 氏

障がいの有無にかかわらず、様々な個性や特性をもつ子どもたち一人一人の才能をどう伸ばすか、一人一人の子どもたちの学びの充実のために、私たちに必要な視点について、御講演をいただきます。

◇講師プロフィール

香川大学助教授、カンザス大学・ウィスコンシン大学客員研究員、ダンディ大学客員研究員を経て、2005年より東京大学先端科学技術研究センター特任教授、2008年より東京大学先端科学技術研究センター教授、2022年4月より現職

◇研究分野、主な著書等

ICT（情報コミュニケーション技術）を活用した社会問題解決型実践研究を推進。
著書に「どの子ども違う」（中公新書ラフレ）「育てにくい子は 挑発して伸ばす」（文藝春秋）、共編著に「バリアフリー・コンフリクト」（東京大学出版会）「タブレットPC・スマホ時代の子どもの教育」（明治図書出版）など。

<参加申込み方法・その他>

1 参加申し込みにあたって

参加方法は、「来場による参加」と、「オンラインによる参加」があります。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、来場人数は140名程度として募集します。そのため、申し込み状況に応じて来場できない場合もあります。その際は、オンラインでの視聴をお願いいたします。

[来場に係る募集の主な方針]

- ① 特別支援学校初任者研修、5年経験者研修対象者で、選択研修として受講が必要な方を優先します（該当者は原則来場とします）。
- ② 特別支援学校からの参加は、原則各校2名までとします。（※上記①を含まない）
- ③ 各小・中学校、高等学校や行政機関等からの参加は、原則各所属1名とします。
- ④ 参加人数が多い場合は、学校種等を考慮して調整します。

2 参加申し込みについて

(1) 申し込み方法

希望される方は、電子メールで福島県特別支援教育センターに直接お申込みください。

- ① 申込み締切日 令和4年11月7日（月）17：00必着
- ② 別紙「令和4年度第37回福島県特別支援教育センター研究発表会参加申込書」（以下「参加申込書」）に必要事項を記入後、送付先メールアドレスに添付して送信してください。
※ 「参加申込書」は当センターWebサイト [〈https://special-center.fcs.ed.jp〉](https://special-center.fcs.ed.jp) からダウンロードできます。
- ③ 送付先メールアドレス special-center@fcs.ed.jp（送り状不要）
- ④ 受理確認のメールを返信いたします。送信後3日経過しても返信がない場合は、御面倒をおかけしますが、下記お問い合わせ先まで御連絡ください。

(2) 参加決定について

参加申し込みをされた方に、令和4年11月15日（火）を目安に、参加の可否についての通知をメールで送付します。

3 会場へのアクセス

【お車でお越しの方】

磐越自動車道三春船引IC出口を左折し、国道288号線三春バイパスを進み、田村西部工業団地入口の信号を左折してください。（別紙「案内図」参照）

【鉄道でお越しの方】

JR磐越東線三春駅よりタクシーで約12分です。

4 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症の状況により、オンライン配信のみの開催となる場合があります。当センターホームページにてお知らせいたします。
- (2) 弁当の斡旋は行いません。昼食の準備は参加者各自でお願いします。
- (3) 手話通訳等の合理的配慮の提供を希望する場合は、「参加申込書」の備考欄に御記入の上、お知らせください。

【お問い合わせ先】 福島県特別支援教育センター 企画事業部 電話 024-952-6497 FAX 024-952-6599
